

【B 発達障害児者の診療について伺います】

問3 貴院では、発達障害児者の診療を行っていますか。

1 行っている (問4へ) 2 行っていない (2へ)

2) 診療を行っていないと答えた方へおたずねします。

貴院では今後、発達障害児者の診療を行う予定はありますか

1 ある 2 ない 3 行いたい、実際にどうしたらよいか分からない

※アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問4 発達障害児者に対する診療等の内容について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1) 発達障害の診断
- 2) 薬物療法
- 3) カウンセリング(心理職等によるものを含む)
- 4) 専門職(言語聴覚士・作業療法士・理学療法士等)による各種訓練
- 5) 専門職(言語聴覚士・ソーシャルワーカー・作業療法士・理学療法士等)による各種相談
- 6) 身体合併症や二次障害の治療
- 7) 入院治療
- 8) 障害者手帳や年金等の受給申請に必要な書類(診断書等)の作成
- 9) 家族教室の開催
- 10) その他 ()

問5 担当医は発達障害に関する専門研修等を受けたことがありますか

1) ある 2) ない

【C 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います（その① 特性の理解）】

問6 貴院では、発達障害に伴う「感じ方（感覚）」や「まわりのことへの理解の仕方」「自分の気持ちの表し方」「相手の気持ちへの理解の仕方」「行動パターン」など（以下、このアンケートでは「障害特性」と記載）にどのような特徴があるか、専門職の人などが調べていますか。

- 1) 調べている 2) 調べていない

↓

(副問) 1) 調べていると答えた方におたずねします。どのように障害特性を調べていますか。
当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 行動観察 ()
② ご本人及び関係者への聞き取り ()
③ 関係機関からの情報の引継ぎ ()

問7 貴院では、発達障害について心理学的な検査を行い、支援に活用していますか。

- 1) 行っている 2) 直接行っていないが、検査結果を活用している 3) 活用していない

↓ (※1、2と答えた方も以下に回答)

(副問) 1) どのような検査を活用していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 日常生活における困難と要支援度の評価

MSPA ()

- ② 知能検査・発達検査

WISC (学齢期) ()、WAIS (成人期) ()、田中ビネー検査 ()、

K式発達検査 ()、K-ABC ()、DN-CAS ()、遠城寺式乳幼児発達検査 ()、

ポータージプログラム ()

- ③ 適応行動（生活能力）のアセスメント

Vineland 適応行動尺度II ()、S-M社会生活能力検査 ()、

ASA 旭出式社会適応スキル検査 ()

- ④ 情緒と行動のアセスメント

SDQ ()、CBCL ()

異常行動チェックリスト日本語版 ABC-J ()、日本語版感覚プロフィール ()

⑤ 自閉症スペクトラムのアセスメント

M-CHAT ()、PARS ()、CARS ()、ADOS ()、AQ テスト ()
PEP - 3 ()、TTAP ()、ADI-R ()

⑥ その他のアセスメント

ADHD-RS ()、CAARS ()、LDI-R ()、全国標準学力検査 CRT ()、
音読検査 ()、言語学習能力検査 ITPA ()、PVT - R 絵画語彙検査 ()、
ミラー幼児発達スクリーニング検査 JMAP ()、日本版感覚統合検査 JPAN ()

【D 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います (その② 日常生活について)】

問8 貴院では、発達障害のある人が日常生活を送る上で特に配慮が必要な障害特性について、具体的に把握していますか。

1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。どのように障害特性を把握していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 行動観察 ()
- ② ご本人及び関係者への聞き取り ()
- ③ 関係機関からの情報の引継ぎ ()
- ④ その他 ()

問9 貴院では、発達障害のある人が日常生活を送る上で特に配慮が必要な障害特性に対して、何らかの「手立て」を行っていますか。

1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

副問-1 具体的にどのような「手立て」を講じていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- ① これから起きることの見通しが持てるよう、スケジュールやカレンダーで予定を示している。()
- ② スケジュールに変更が生じるときには、事前に確認している。()
- ③ 意思疎通に、コミュニケーションカードや具体物の提示、筆談、通信機器などを

- 用いている。()
- ④ 着替え、食事、余暇、休息などの場所を区切り、何をするとどこか見てわかりやすくしている。()
- ⑤ 日常生活動作や作業の手順表を作り、使うものを順番に並べるなど工夫している。()
- ⑥ 作業を細かく区切り、都度休憩を入れる、目標の達成状況を確認するなど工夫している。()
- ⑦ 不注意によるミスを防ぐため、手帳やメモに記録を取り、都度見返すように支援している。()
- ⑧ 物音や光など苦手な刺激を避けるため、イヤーマフや特別なメガネなどを用いる工夫をしている。()
- ⑨ 疲れたり調子が悪い時などに、一人で過ごすことが出来る場所（カームダウンエリア）を用意している。()
- ⑩ できないことや苦手なことは人に頼む、サービスを利用するなどし、得意なことに集中させている。()
- ⑪ 周り（社会）とうまく関わるため、共同作業の進め方や周り人への伝え方などの練習を行っている。()
- ⑫ 辛いときに休憩し、手助けを求められるように、自分の障害特性を周りの人に伝えるよう支援している。()
- ⑬ その他 ()

副問－2 日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、ツール（道具や用紙など）を使っていますか。

- 1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

主にどのようなツールを使っていますか。当てはまるものをすべて選んで○をつけてください。

- 1) コミュニケーションカード（イラスト・写真・文字を含む）
- 2) 筆談（イラスト・写真・文字の使用を含む）のための用紙
- 3) スケジュールボード、カレンダー、スケジュール手帳
- 4) スマートフォンやタブレット端末
- 5) パソコン
- 6) VOCA（音声を出力するコミュニケーション機器）

- 1) 受けている 2) 受けていない

↓

(副問) 2) 受けていないと答えた方におたずねします。

今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んで○をつけてください。

- 1) 今後、専門機関の助言や指導を受ける予定である。
- 2) 特に予定はない
- 3) 受けたいが、実際にどうすればよいか分からない

問 12 発達障害のある人を支援する上で、困ったときに頼れる相談相手はいますか。

- 1) いる 2) いない

↓

(副問) 1) いると答えた方におたずねします。

おもな相談相手は誰ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

- 1) 院内の医師
- 2) 院内の看護師
- 3) 院内のソーシャルワーカー
- 4) 院内の心理職
- 5) 他の医療機関の医師及び医療関係者
- 6) 発達障害に関する専門機関の職員
- 7) 相談支援専門員
- 8) 福祉サービスの支援者
- 9) 学校の教員
- 10) スクールカウンセラー
- 11) スクールソーシャルワーカー
- 12) 当事者会・家族会の会員や、同じ立場の当事者
- 13) ご本人の家族

問 13 貴院では、発達障害のある人を支援するための個別の支援計画づくりに参画、あるいは情報提供したことがありますか。

- 1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

渡した情報がどう使われたか、フィードバックはありましたか。

- 1) はい 2) いいえ

【E 強度行動障害のある人への支援について伺います（その① 日頃の対応について）】

問 15 貴院では、強度行動障害のある人の診療を行っていますか。

1 行っている（問16へ） 2 行っていない（下記2へ）

2) 診療を行っていないと答えた方へ、今後の予定についておたずねします。

今後、診療を行う予定はありますか

1 ある 2 ない 3 行いたい、実際にどうしたらよいか分からない

※アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問 16（入院病床のある病院のみご回答ください）貴院には、強度行動障害のある人の入院に対応できる病床はありますか。

1) ある 2) ない

↓

（副問） 1) あると答えた方におたずねします。

副問-1 令和2年度に診療等のために入院した強度行動障害のある人の数をご記入ください

年間入院実患者数（ ）人

平均入院期間（ ）日

副問-2 上記のうち、保護室で対応した人の数をご記入ください

保護室対応した実患者数（ ）人

平均の保護室対応期間（ ）日

問 17 強度行動障害のある人を支援するにあたり、障害特性があるために起きる行動で困っていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1) 大声や奇声をあげる、泣き叫ぶ
- 2) 自分の顔を叩く、手足に噛みつく、壁に頭を打ち付けるなどの自傷行為
- 3) 物を投げる、壁を蹴る、家具を倒す、ガラスを割るなどの破壊行動
- 4) 周りの人や家族を叩く、噛みつく、物を投げつける、暴言を言うなどの他害行為

- 5) 激しく動き回り、じっとできなくなる（多動）
- 6) 問いかけに反応せず、体も動かなくなるなど行動の停止や同じ動作の反復
- 7) 昼夜が逆転して眠らない
- 8) 食べられないものを口に入れたりするなどの食に関する行動
- 9) 便をこねたり、投げたりするなどの排尿排便行動
- 10) その他()

問 18 貴院では、強度行動障害のある人の日常生活を支えるために、特に配慮が必要な障害特性に対して何らかの「手立て」を行っていますか。

- 1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

副問-1 具体的にどのような「手立て」を講じていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- ① 本人がこれから起きることの見通しが持てるよう、スケジュールやカレンダーで予定を示している。()
- ② スケジュールに変更が生じるときには、事前に本人に伝えている。()
- ③ 本人に関することを決める際、本人が理解できる方法で本人に伝え、選択肢を示すなど意思確認している。()
- ④ 本人が自分の考えを相手に伝えられるよう、コミュニケーションカードや筆談などを用いている。()
- ⑤ 周りの人が本人に必要なことを伝えるため、コミュニケーションカードや筆談などを用いている。()
- ⑥ 着替え、食事、余暇、休息などの場所を区切り、何をするとどこか見てわかりやすくしている。()
- ⑦ 本人が日常生活動作を自立して行えるよう、手順表を作ったり、使うものを順番に並べるなどしている。()
- ⑧ 物音や光などの苦手な刺激を避けるため、イヤーマフや特別なメガネなどを用いる工夫をしている。()
- ⑨ 本人が目標を持って活動に取り組めるよう、トークンシステムを取り入れている。()
- ⑩ 本人が疲れたり調子が悪い時に、一人で過ごせる場所（カームダウンエリア）を用意している。()
- ⑪ 身の回りの世話など日常生活の全般にわたり、性別や実年齢にあわせた対応や配

慮をしている。()

⑫ 個室の設置や他の利用者との不用意な接触を避けるなど、動線が重ならない工夫をしている。

⑬ その他 ()

副問-2 日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、ツール（道具や用紙など）を使っていますか。

1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

主にどのようなツールを使っていますか。ご本人と一緒に使うもの、またはご本人が自分で使うものについて、当てはまるものをすべて選んで○をつけてください。

- 1) コミュニケーションカード（イラスト・写真・文字を含む）
- 2) 筆談（イラスト・写真・文字の使用を含む）のための用紙
- 3) スケジュールボード、カレンダー、スケジュール手帳
- 4) スマートフォンやタブレット端末
- 5) パソコン
- 6) VOCA（音声を出力するコミュニケーション機器）
- 7) タイムタイマー（時間の経過を視覚的に伝える機器）
- 8) イヤーマフ
- 9) サングラス
- 10) その他 ()

副問-3 日常生活上の「手立て」を講じるうえで、難しいと感じることがありますか。

1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

どのようなことに難しさを感じますか。当てはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1) 正しいやり方がわからない
- 2) やり方の相談に応じたり、指導してくれる人がいない
- 3) 毎日のことなのでつい億劫になる
- 4) 道具や絵カードなどを準備する時間がない

- 5) 本人の行動に変化がなく、効果があるかどうかわからない
- 6) 他の人と違った対応を行うことに抵抗がある
- 7) 言葉で話せばわかるのではないかと思い、気が進まない
- 8) 本人が嫌がるため、取り入れることができない
- 9) その他 ()

【E 強度行動障害のある人への支援について伺います (その② パニックへの対応について)】

問 19 強度行動障害のある人の状態が悪化して、危機的な状況（パニック）になったときのことを伺います。

過去1年間に、ご本人が危機的な状況（パニック）になったことがありますか。

- 1) ある
- 2) ない

(副問) 1) あると答えた方におたずねします。

副問1 ご本人の状態が悪化したとき、具体的にどのような状態がより激しくなりましたか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1) 大声や奇声をあげる、泣き叫ぶ
- 2) 自分の顔を叩く、手足に噛みつく、壁に頭を打ち付けるなどの自傷行為
- 3) 物を投げる、壁を蹴る、家具を倒す、ガラスを割るなどの破壊行動
- 4) 周りの人や家族を叩く、噛みつく、物を投げつける、暴言を言うなどの他害行為
- 5) 激しく動き回り、じっとできなくなる（多動）
- 6) 問いかけに反応せず、体も動かなくなるなど行動の停止や同じ動作の反復
- 7) 昼夜が逆転して眠らない
- 8) 食べられないものを口に入れたりするなどの食に関する行動
- 9) 便をこねたり、投げたりするなどの排尿排便行動
- 10) その他 ()

副問2 なぜそのような状態になったか、理由はわかりますか

- 1) わかる
- 2) わからない

↓

副問2-1 1) わかると答えた方におたずねします

おもな理由は何ですか。該当するものを重要なものから3つまで選んで○をつけてください。

- 1) 急な予定の変更や、予期しない出来事が起きた

